

# 町田市高齢者福祉センター（ふれあい館） あり方検討会報告書



ふれあいもみじ館

2023年3月

町田市いきいき生活部高齢者福祉課

## <はじめに>

町田市高齢者福祉センター（ふれあい館）は、高齢者の通いの場として、健康の維持増進、教養の向上、レクリエーションに関するサービスを提供することを目的として、昭和50年代に市内6カ所に設置され多くの高齢者に親しまれてきました。

高齢化が急速に進む中、町田市でも高齢者数は増加していますが、ふれあい館の利用者は減少傾向にあります。これは、生活様式の多様化に伴い高齢者の日常の過ごし方が変化していることが原因のひとつだと考えられます。

町田市では財政状況が厳しさを増す中でも必要な公共サービスを維持または向上させていくために、2018年度に「町田市公共施設再編計画」を策定しました。この計画の中では、ふれあい館についても見直しの方向性が示されています。

このような現状を踏まえ、今後、町田市の高齢者施策においてふれあい館が担うべき役割やそのあり方について検討を行うため、市内の福祉関係団体や地域団体及びふれあい館利用者で構成した検討会を2022年度に設置し、全3回の検討会を開催しました。

本報告書は、検討会の結果を踏まえ、ふれあい館の今後のあり方についてまとめたものです。

2023年3月

町田市いきいき生活部高齢者福祉課

## 町田市高齢者福祉センター（ふれあい館）あり方検討会報告書目次

1	ふれあい館の現状と課題.....	1~6
1-1	ふれあい館とは	
1-2	市内高齢者と、ふれあい館利用者数の推移	
1-3	ふれあい館利用者の特徴	
1-4	ふれあい館を取り巻く環境	
1-5	ふれあい館の課題	
2	ふれあい館のあり方に関するアンケート実施概要.....	7~8
2-1	調査目的	
2-2	調査対象及び方法	
2-3	実施時期	
2-4	調査項目とねらい	
2-5	結果の活用	
3	ふれあい館のあり方に関するアンケート実施結果.....	9~19
3-1	集計結果・回答概要	
3-2	個別質問集計結果	
3-3	まとめ	
4	ふれあい館の今後のあり方.....	20~23
4-1	アンケート結果	
4-2	検討会での意見	
4-3	ふれあい館の今後のあり方	

### 《資料編》

1	町田市高齢者福祉センター（ふれあい館）あり方検討会設置要領.....	25
2	2022年度ふれあい館あり方検討実施方針.....	27
3	ふれあい館に関するアンケート.....	28
4	町田市高齢者福祉センター（ふれあい館）あり方検討会委員名簿.....	32
5	町田市高齢者福祉センター（ふれあい館）あり方検討会開催経過.....	32

# 1 ふれあい館の現状と課題

## 1-1 ふれあい館とは

ふれあい館（町田市高齢者福祉センター）は、老人福祉法の規定に基づく老人福祉センターとして、主に町田市に在住の60歳以上の方を利用対象に、現在市内に6館設置されている。

老人福祉法では、老人福祉センターを「無料又は低額な料金で、老人に関する各種の相談に応ずるとともに、老人に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする施設とする。（第二十条の七）」と規定している。

表①各ふれあい館の情報

（施設概要）

		もみじ館 （金森）	いちよう館 （鶴川）	もっこく館 （町田）	くぬぎ館 （木曽山崎）	けやき館 （塚）	桜館 （小山田）
基本情報	建設年月日	1975年2月28日	1978年1月5日	1989年3月22日	1982年10月13日	1983年3月31日	1994年3月17日
	延床面積（㎡）	581	720	826	493	359	1,074
	建設後 経過年数	47年	44年	33年	40年	39年	28年
	施設	単独館	単独館	健康福祉会館 3階	木曽山崎コミュニ ティセンター 2階	塚市民センター2 階	高齢者福祉施設 「ふれあい桜館」 2階
	運営形態	直営	直営	直営	直営	直営	指定管理
	1日当たり利用者 （2021年度）	52.9	55.0	29.0	65.4	30.7	54.5

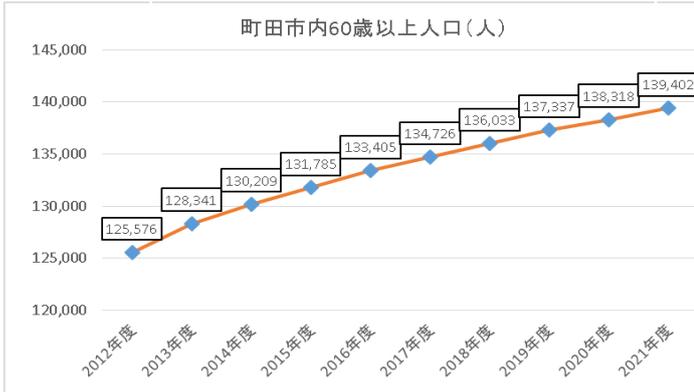
（運営コスト）

		もみじ館 （金森）	いちよう館 （鶴川）	もっこく館 （町田）	くぬぎ館 （木曽山崎）	けやき館 （塚）	桜館 （小山田）
運営コスト （千円） （2021年度）	人件費	13,668	15,046	15,672	16,656	15,898	1,486
	物件費	6,841	8,728	7,278	6,562	3,455	33,908
	維持補修費	915	439	221	703	36	0
	その他経費	2,512	6,654	4,572	3,685	5,226	15,528
	コスト合計	23,936	30,867	27,743	27,606	24,615	50,922
単位あたり コスト（円）	1㎡あたり コスト（円）	41,198	42,871	33,587	55,996	68,565	47,413
	利用者1人あたり コスト（円）	3,900	4,282	7,307	3,221	6,119	7,130

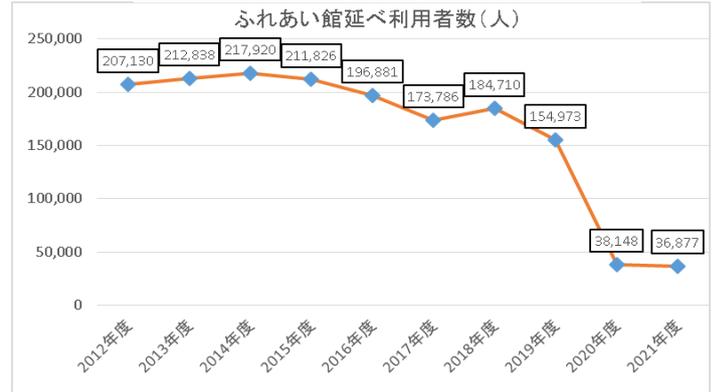
## 1-2 市内高齢者と、ふれあい館利用者数の推移

直近10年間（2012年度～2021年度）の状況を見ると、ふれあい館利用対象者である、市内60歳以上の人口は増加し続けている（グラフ①）。一方で、ふれあい館の延べ利用者数は減少傾向にあった（グラフ②）。特に、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の拡大以降、施設の休館や利用者の利用控えがあり、延べ利用者数は2012年度の約18%に減少した。

グラフ①：市内60歳以上人口推移



グラフ②：ふれあい館延べ利用者数推移



## 1-3 ふれあい館利用者の特徴

### (1) 利用者一人当たりの年間利用回数

ふれあい館では2020年度から来館者受付システムを導入し、これまで集計していた延べ利用者数に加え、実利用者数や、利用者別に1年に何回ふれあい館を利用しているか分かるようになった。

2021年度の延べ利用者の実利用者は以下のとおりである。

2021年度	延べ利用者数(人)	実利用者数(人)	一人当たり年間利用回数(回)
	36,877	1,379 (相模原市民76人含)	26.7

2021年度のふれあい館の開館日数は、131日であるが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い休館したためである。(通常の開館日数は265日程度)

一人当たりの年間利用回数が26.7回であるため、概ね5開館日に1回(週1回程度)ふれあい館を利用していることになる。

また、利用者別の年間延利用回数を見ると、101回以上ふれあい館を利用している方が60名いるが、一人当たりの平均利用回数に近い25回以下の利用者数が全体の71%を占めており、実利用者の7割は週1回以下の利用であることが分かる。

表：2021年度利用者別延利用回数

	1～25回	26～50回	51～75回	76～100回	101～125回	126～150回	151～175回	176～200回	201回以上	計
人数	981	147	119	72	38	13	3	2	4	1379
率	71.1%	10.7%	8.6%	5.2%	2.8%	0.9%	0.2%	0.1%	0.3%	100.0%

## (2) 新規利用者の状況

ふれあい館を新しく利用する場合は、初めて利用する館で利用登録を行う。(1度利用登録すれば他の館の利用も可能) 下記表は各館で新規登録を受け付けた人数である。

館名	年度			
	2018	2019	2020	2021
もみじ	66	38	19	34
いちよう	72	27	11	34
くぬぎ	131	82	6	21
もっこく	161	87	29	10
けやき	74	71	28	28
桜	112	83	38	52
合計	616	388	131	179

2018年度は、1館当たり100名程度の新規登録者があったが、2020年度には概ね1館当たり20名程度の新規登録者となった。

## (3) 利用者の年齢層・男女比率

2021年度のふれあい館実利用者1,379人を男女別・人数別にまとめたものが下記グラフ③である。全利用者の平均年齢は79.57歳となっており、75歳～84歳の方が来館者の60%以上を占めている。

また、男女比率は男性35%、女性65%となっており女性の方が多い。

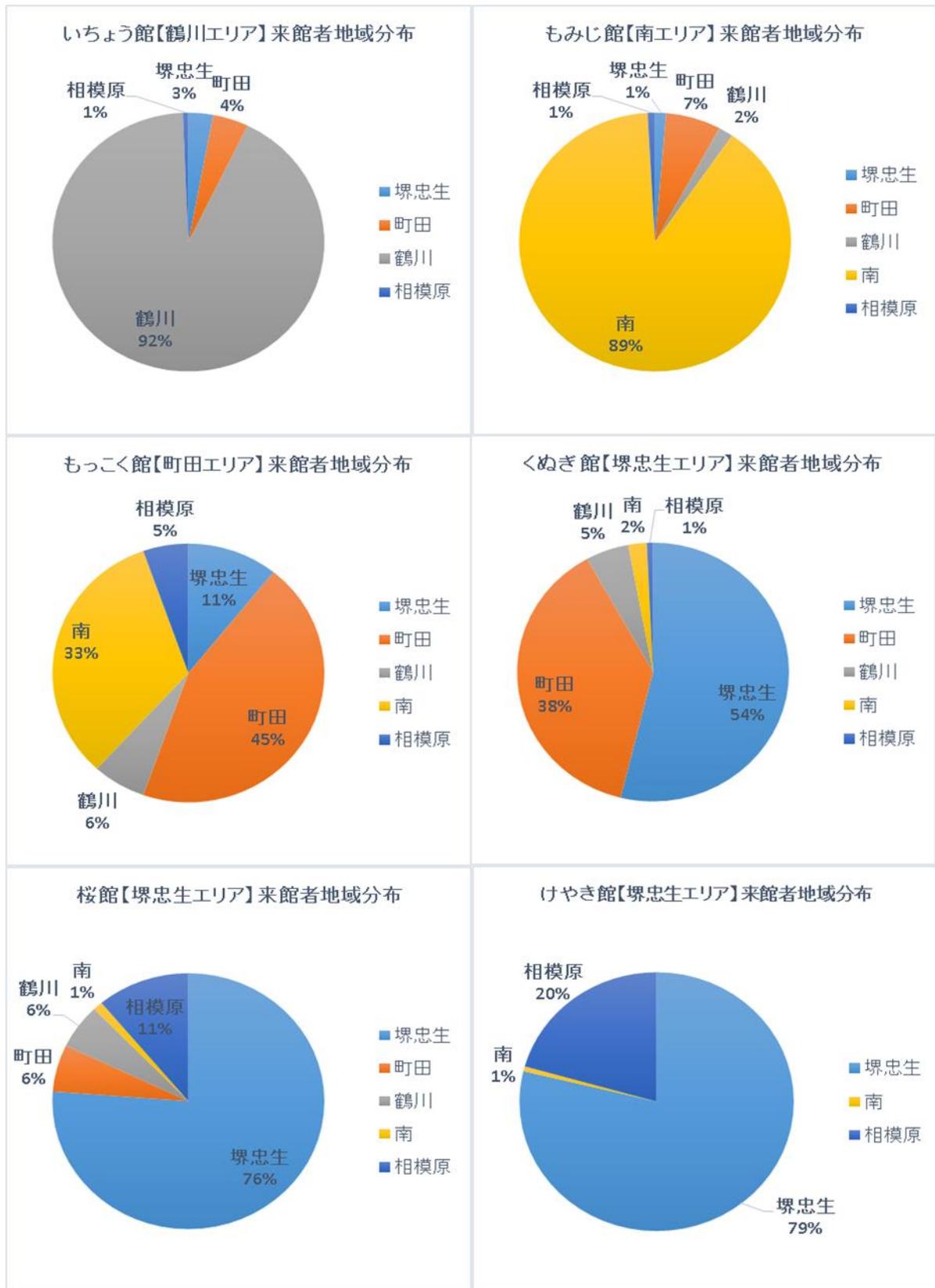
利用者の平均年齢の比較では、2020年度の全利用者の平均年齢79.08歳と比較すると、高齢化していることがわかる。

グラフ③：2021年度ふれあい館来館者性別年齢分布



#### (4) ふれあい館利用者の居住地

ふれあい館別に、2021 年度利用者の居住地を分析した。居住地は町田市全域を、堺忠生・町田・鶴川・南の 4 エリアに分けたものに相模原エリアを加えた 5 エリアにわけ、館の所在エリアと利用者のエリアに関連があるかを分析した。



分析の結果、もっこく館を除く5館では、館が所在しているエリアに住む利用者が50%以上を占めていることがわかった。特に、いちょう館とくぬぎ館では、来館者の約90%が館の所在エリアに住む利用者である。

もっこく館については、市内の様々なエリアから利用者が訪れているが、所在地が町田駅に近く、交通の利便性が良いためであると考えられる。

### (5) ふれあい館利用者の現状推察

(1)～(4)までのふれあい館利用者の特徴から、ふれあい館利用者の現状について以下のような推察が出来る。

- ・年間の延べ利用者数と実利用者数との間に開きがあることや、新規利用者が減少傾向であることから、特定の利用者が頻繁に利用している実態がある。(利用客が固定化している。)
- ・ふれあい館を新規に利用するきっかけとして、既に利用している方から誘われ、登録に至るケースがあるが、全体の利用者が減少する中で、既存の利用者が未利用者を誘う機会についても減少していると考えられ、新規利用者の減少傾向に繋がっていると考えられる。
- ・居住地域分析から、ふれあい館利用者は、ふれあい館の近隣に居住している方が多数である。また、2019年に実施した利用者アンケートでは、来館手段として徒歩や自転車と答えた方が半数以上いたことから、比較的短距離に居住している方が利用している傾向がある。

## 1-4 ふれあい館を取り巻く状況

### (1) 市の高齢者施策

高齢者が生きがいを持って自立した生活を続けていくために、身近な場所で自主的・継続的に介護予防に取り組める環境づくりを推進しており、介護予防のための通いの場の充実について重点的に取り組んでいる。

### (2) 高齢者に対する市の事業

ふれあい館以外で高齢者に対し実施している公的事業

- 高齢者福祉課 「町トシ」など介護予防事業の推進
- 高齢者支援センター 高齢者の地域に密着した相談窓口
- 保健所 オーラルケアなど高齢者向けの保健指導
- 生涯学習センター 高齢者対象の学習機会の提供
- 市民センター 貸出施設を活用した高齢者主体のグループ活動
- スポーツ振興課 高齢者対象の運動機会提供・講習実施
- シルバー人材センター 高齢者の就労、社会参加の促進

### (3) 公共施設再編計画

2018年に策定された「町田市公共施設再編計画」では、高齢者の居場所づくりの地域展開や健康づくり等各種講座について、高齢者を含めた多様な世代・目的の方が集える場所として、市民センターや学校等の地域の活動拠点への移転を図り、高齢者専用施設としての単独での建て替えは行わないこととされた。

これにより、いちょう館やもみじ館の単独の建物としての建て替えは行われず、施設の耐用年数終了まで「事後保全」(※)した後、当該施設は計画的に廃止・利用停止されることとなる。

※計画的修繕は凍結し、故障や不具合が生じた場合に修繕を行う。経年による機能・性能の劣化により、建物を安全に使用できないと判断される前に施設を計画的に廃止・利用停止する。

### (4) 高齢者のライフスタイルの変化・多様化

高齢者人口の増加に伴い、高齢者に対し趣味・娯楽サービスを提供する事業者は多数存在している。また、地域でのボランティアや健康づくり、趣味のグループ活動など、高齢者のライフスタイルが多様化している。さらに、定年延長などにより、65歳以上の就業者数は2011年から2021年までの10年間で約60%増加しており、高齢になっても働き続ける方は増えている。

## 1-5 ふれあい館の課題

以上のように、ふれあい館が設置された当初と比べ、高齢化やライフスタイルの多様化等、ふれあい館を取り巻く状況は大きく変化している。ふれあい館の利用者は減少し続けている一方で、公共施設再編計画にあるように、施設の維持、管理についても課題を抱えている。本検討会ではこの事実を踏まえ、ふれあい館が町田市の高齢者福祉施策の中で担うべき役割の再確認を行い、今後のふれあい館のあり方についての方向性を検討していく必要がある。

## 2 町田市高齢者福祉センター（ふれあい館） のあり方に関するアンケート実施概要

### 2-1 調査目的

ふれあい館の今後の方向性を検討する材料とするため。

### 2-2 調査対象及び方法

対象者	配布方法	回収方法	配布枚数	予想回収率	回収目標枚数
一般の高齢者	次の各団体を通じて配布 ・シルバー人材センター ・老人クラブ連合会 ・介護予防サポーター ・高齢者向けイベント	直接または、各団体経由で回収	450	50%	225
			265	50%	132
			100	80%	80
ふれあい館利用者	ふれあい館で直接配付	直接	300	80%	240
合計			1165		702

※ ふれあい館利用者については、一般の高齢者と対比させるために調査対象とするもので、別に集計する。

### 2-3 調査時期

10月・11月

### 2-4 調査項目とねらい

顧客となる高齢者市民の当事業への認知度、評価、要望の他、高齢者市民の日頃の活動状況等を把握できるような項目を設定する。

(1) 高齢者がいきいきとするために行っていること、利用しているもの【問1・2】

☞ねらい：調査対象者が実際に行っている健康増進、教養・レクリエーション等の活動の実態と活動の場について調査し、あり方検討の基本的資料として現状把握を行う。

(2) ふれあい館についての認知度、利用の意向、評価【問3～問6】

☞ねらい：ふれあい館の認知度と、今後の利用の意向、及びその理由を調査することにより、調査対象者のふれあい館に対する大まかな評価や受け止めを明らかにする。

(3) 利用したいサービス、提供してほしいサービス【問7～問10】

☞ねらい：いまのふれあい館で行っているサービスについての、調査対象者の意向や要望を調査する。

(4) 高齢者が「通える場」の条件について【問11】

☞ねらい：健康増進、教養、レクリエーションなどの場について、高齢者が無理なく通える条件を聞く。

(5) 高齢者がいきいきと暮らしていくために重要な事柄について【問12・13】

☞ねらい：高齢者がいきいきと暮らすための条件として調査対象者が重要と考えていることや、それが実現できているかを調査する。

### 3 ふれあい館に関するアンケート集計結果

#### 3-1 集計結果・回答概要

##### 集計結果

集計期間：10月1日～10月31日

回答合計：654（高齢者団体350／ふれあい館304）

##### 回答概要

###### ①回答者内訳

	回答元：高齢者団体			回答元：ふれあい館					
	シルバー人材センター	老人クラブ 連合会	介護予防 サポーター	もみじ館	もっこく館	いちよう館	くぬぎ館	けやき館	桜館
合計	101	183	66	49	50	57	49	49	50
	350			304					

###### ②回答者年齢（回答合計に満たない数は未回答）

年齢層	回答元：高齢者団体		回答元：ふれあい館	
	人数	構成比	人数	構成比
～59	3	1%	1	0%
60～64	8	2%	3	1%
65～69	19	5%	8	3%
70～74	61	18%	62	20%
75～79	106	30%	91	30%
80～84	103	30%	89	29%
85～89	40	11%	42	14%
90～	8	2%	8	3%
合計	348	100%	304	100%

###### ③回答者性別（回答合計に満たない数は未回答）

	回答元：高齢者団体		回答元：ふれあい館	
	人数	構成比	人数	構成比
男性	135	40%	91	31%
女性	203	60%	202	69%
合計	338	100%	293	100%

#### ④回答者居住地域

地域	回答元：高齢者団体		回答元：ふれあい館	
	人数	構成比	人数	構成比
堺・忠生	111	35%	97	35%
鶴川	71	22%	51	19%
町田	78	24%	48	18%
南	52	16%	56	20%
相模原	7	2%	22	8%
合計	319	100%	274	100%

#### 【注意事項】

アンケート集計に当たっては、高齢者団体の中で「ふれあい館を使用したことがある旨回答した方\*」を、ふれあい館でアンケートに回答した方と合わせて集計した。

集計区分は、「ふれあい館利用なし」と「ふれあい館利用あり」とした。

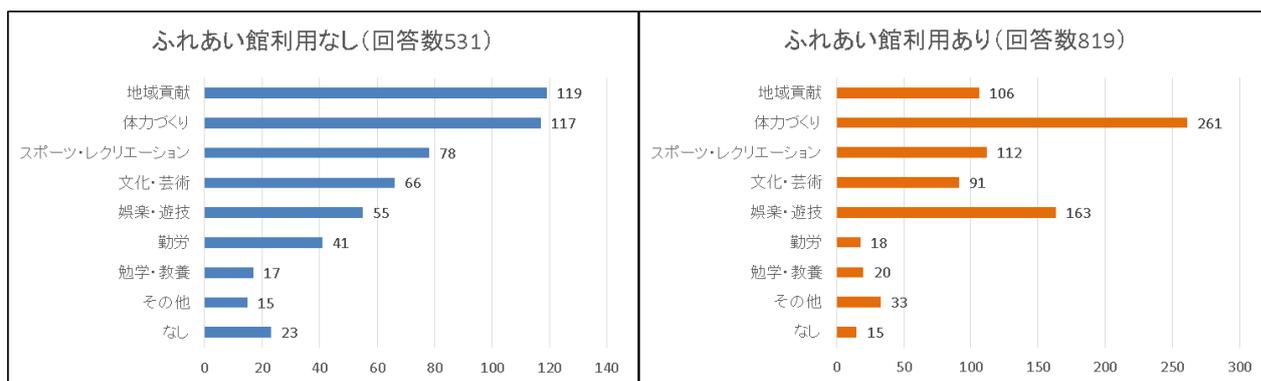
	回答元：高齢者団体 (350)		回答元：ふれあい館 (304)
ふれあい館を使用したことがあるか。	ない (247)	ある (103)	ある (304)
集計区分	ふれあい館 利用なし (247)	ふれあい館利用あり (407)	

※…問2で「ふれあい館」と答えた方、または問3でふれあい館を「現在利用している」「以前利用したことがある」と答えた方。

## 3-2 個別質問集計結果

問1 次のうち、あなたが定期的または日常的に行っていることはどれですか。

(複数回答あり)

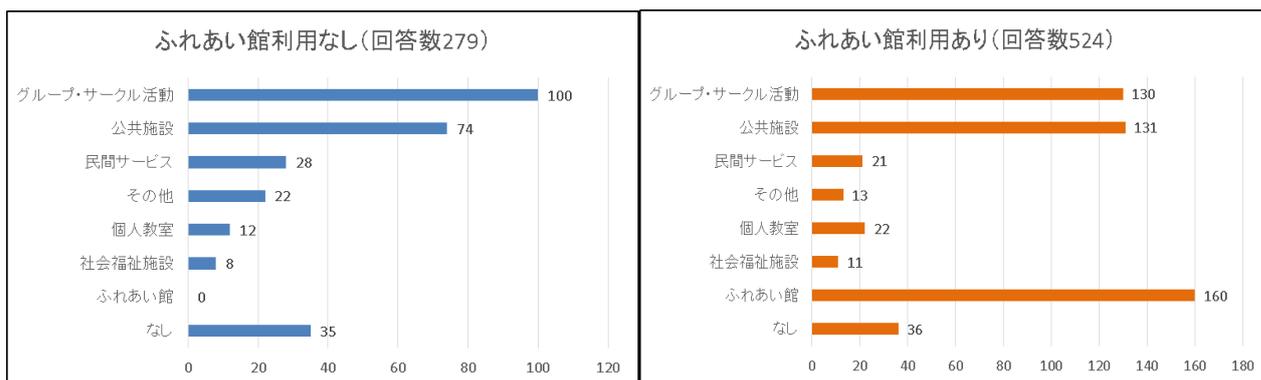


【コメント】

ふれあい館利用なしでは、「地域貢献」と「体力づくり」が多かった。ふれあい館利用ありでは「体力づくり」が最も多く、次いで「娯楽・遊技」が多かった。

問2 問1で回答したことを行うため、利用しているものはどれですか。

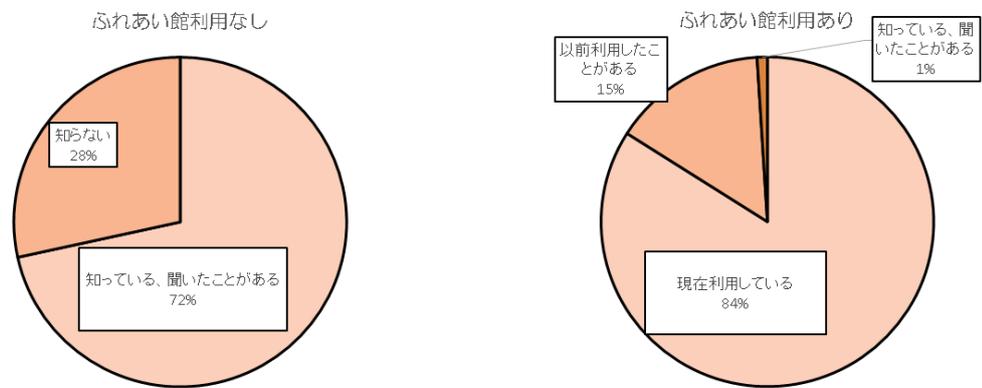
(複数回答あり)



【コメント】

ふれあい館利用なしでは、「グループ・サークル活動」が最も多く、次いで「公共施設」となった。ふれあい館利用ありでも、ふれあい館に次いで、「公共施設」「グループ・サークル活動」が上位を占めた。

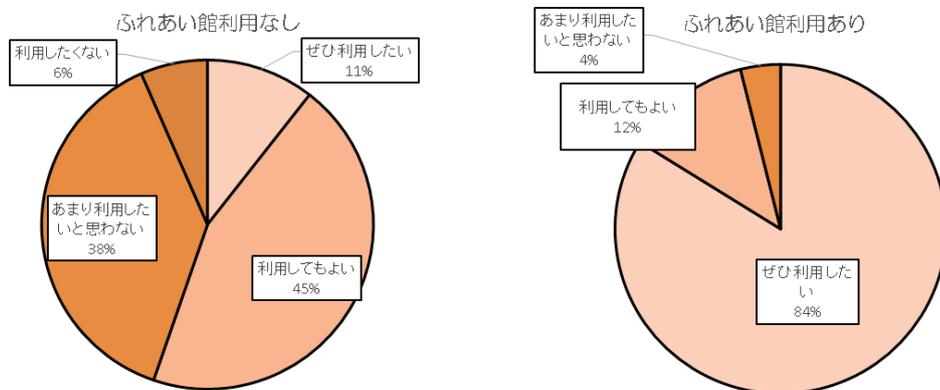
**問3 あなたは、ふれあい館についてどの程度ご存じでしたか。**



**【コメント】**

ふれあい館を使ったことが無い方でも、70%程度はふれあい館のことを聞いたことがあることが分かった。また、ふれあい館を利用したことがある人の15%は現在利用していない。

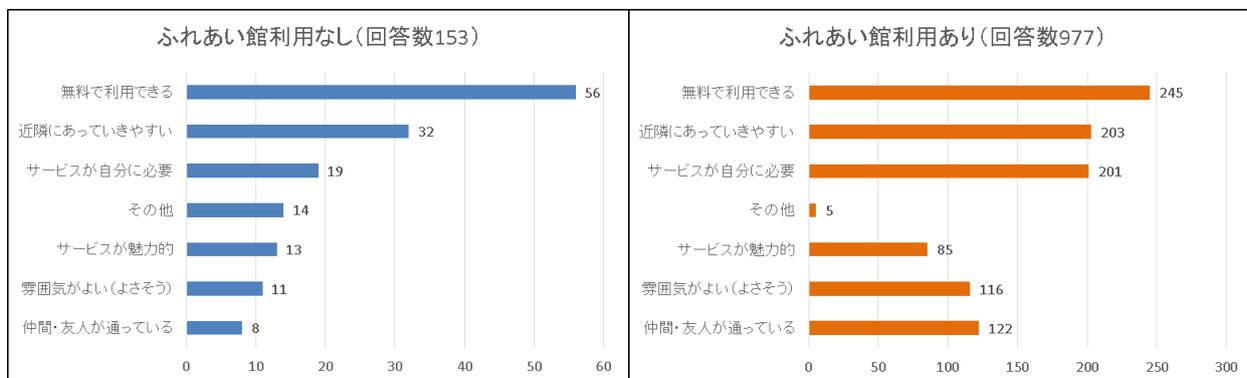
**問4 あなたは、今後ふれあい館を利用したいと思いますか。**



**【コメント】**

ふれあい館を使ったこと無い方でも「ぜひ利用したい」と「利用してもよい」を合わせると56%となり、ふれあい館の利用に前向きな方が過半数となった。

**問5 問4で、「ぜひ利用したい」「利用してもよい」と答えた方にお聞きします。ふれあい館を利用したいと思う理由は何ですか（複数回答あり）**

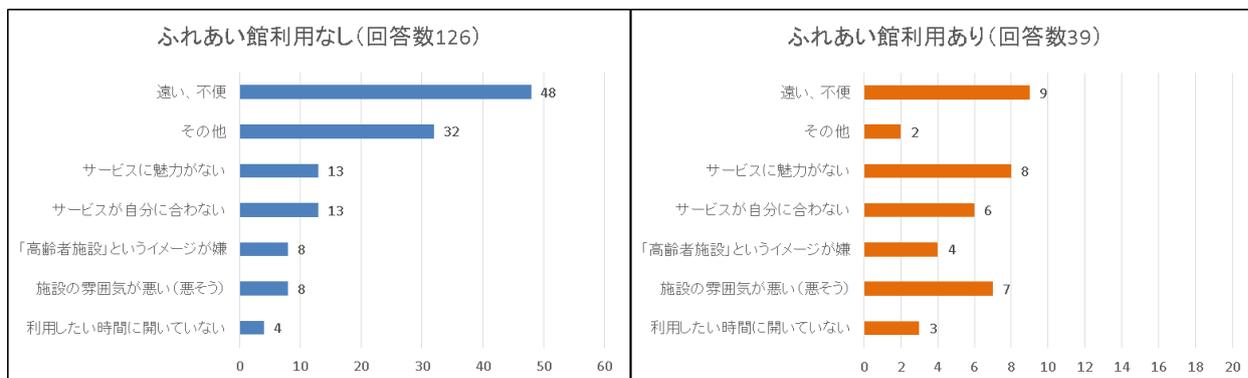


**【コメント】**

ふれあい館を使ったことがない方が、利用してもよいと思う理由は、「無料で利用できる」と「近隣にあっていきやすい」が多かった。

ふれあい館利用がある方では、「無料で利用できる」と「近隣にある」に加えて「サービスが自分に必要」が多かった。また、「仲間・友人が通っている」や、「雰囲気がよい(よさそう)」も利用する理由として多く選ばれていた。

**問6 問4で、「あまり利用したいと思わない」「利用したくない」と答えた方にお聞きします。ふれあい館を利用したくないと思う理由は何ですか。（複数回答あり）**

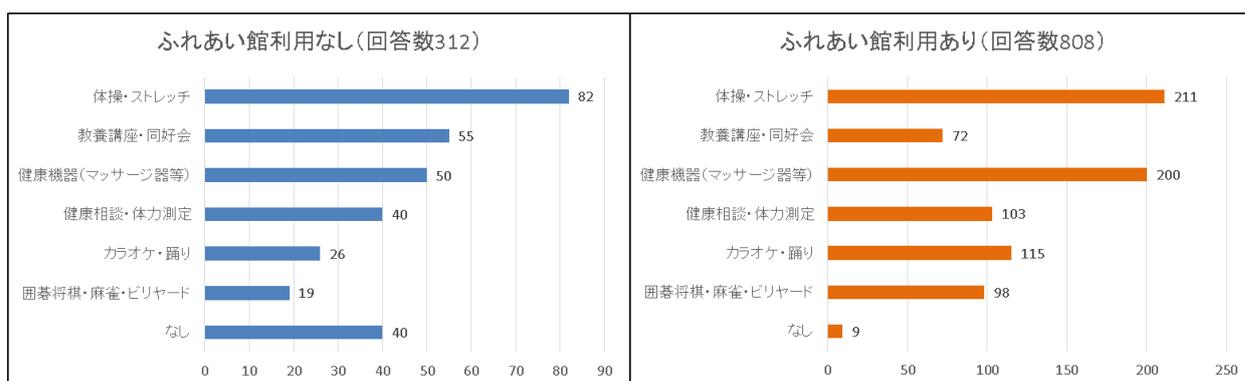


**【コメント】**

ふれあい館を使ったことがない方は、主に「速い、不便」という理由からふれあい館を「あまり利用したいと思わない」「利用したくない」と回答している。

ふれあい館利用がある方でも少数だが「速い、不便」や、「サービスに魅力が無い」と感じている方がいることがわかった。

**問7 ふれあい館を利用したいと思う（している）サービスは何ですか（複数回答あり）**



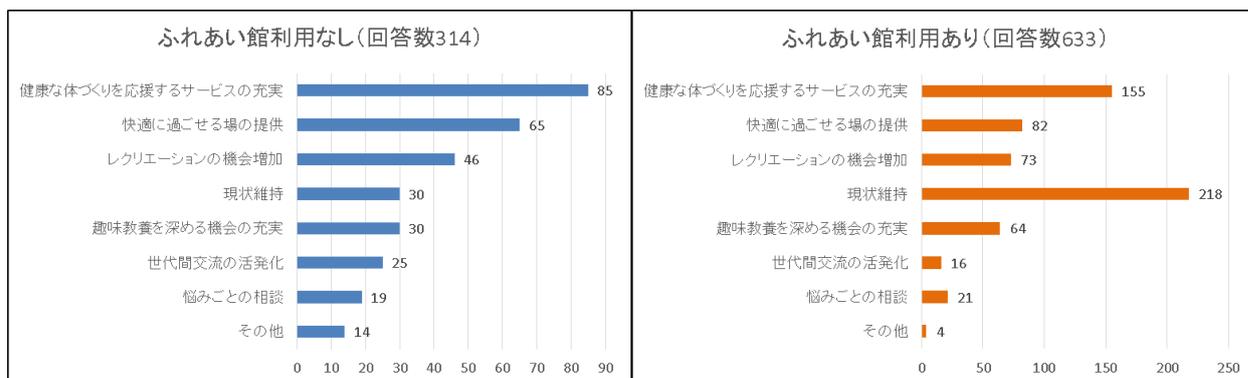
**【コメント】**

ふれあい館利用のある、なしに関わらず、ふれあい館で利用したいサービスに「体操・ストレッチ」を回答する方が多かった。

**問 8 問 7 の選択肢の他に、ふれあい館で提供してほしいサービスは何ですか**

<p>【ふれあい館利用なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボッチャ 2 票、</li> <li>• 吹き矢 2 票</li> <li>• パソコン関係 2 票 等</li> </ul>
<p>【ふれあい館利用あり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 卓球 7 票</li> <li>• スマホ教室 2 票 等</li> </ul>

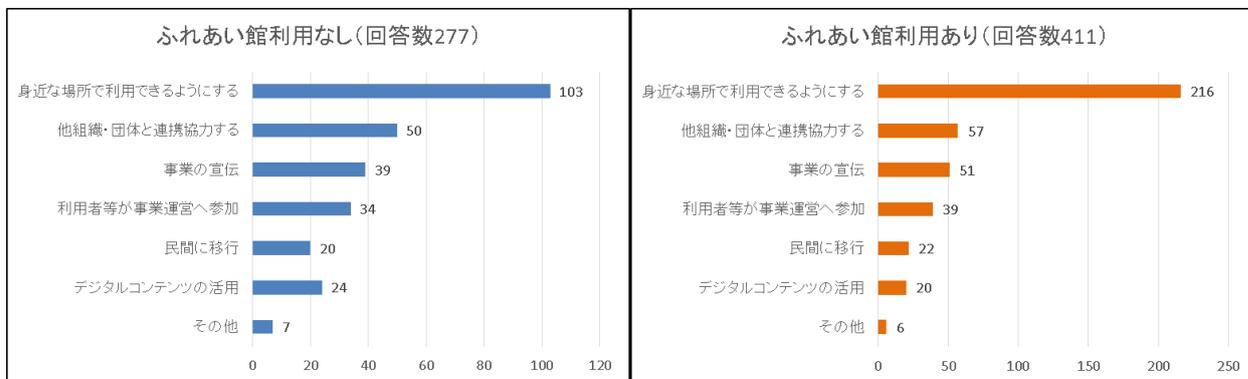
**問 9 ふれあい館の事業内容について、今後、どのような方向に力を入れていくのがよいと思いますか。(2つまで)**



**【コメント】**

ふれあい館利用ありでは「現状維持」が最も多いが、次いで多い「健康な体づくりを応援するサービスの充実」や「快適に過ごせる場の提供」はふれあい館利用のある、なしに関わらず回答上位となった。

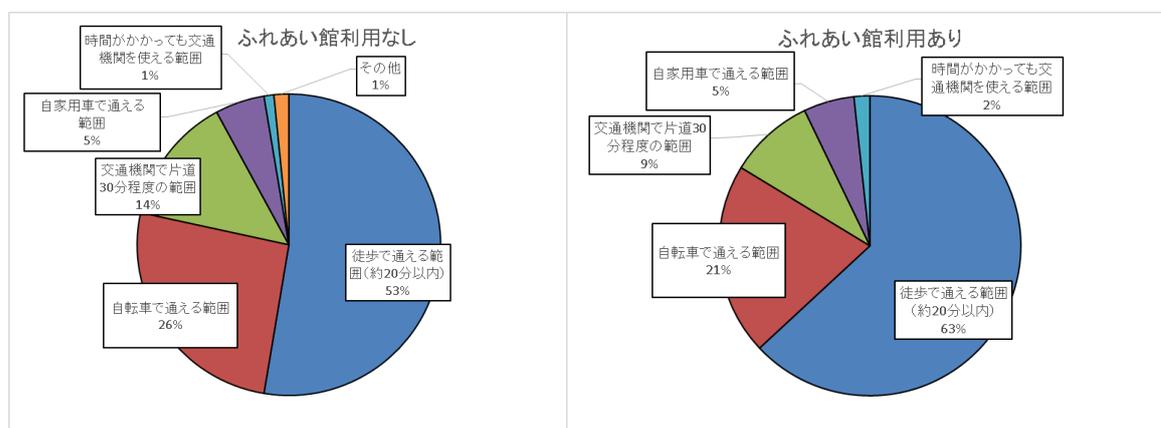
**問 10 ふれあい館の運営方法について、今後、どんな工夫や改善をしていくのがよいと思いますか（2つまで）**



**【コメント】**

ふれあい館利用のある、なしに関わらず「身近な場所でサービスを利用できるようにする」が圧倒的に多く、「身近な場所で利用できること」が強く望まれていることがうかがえる。

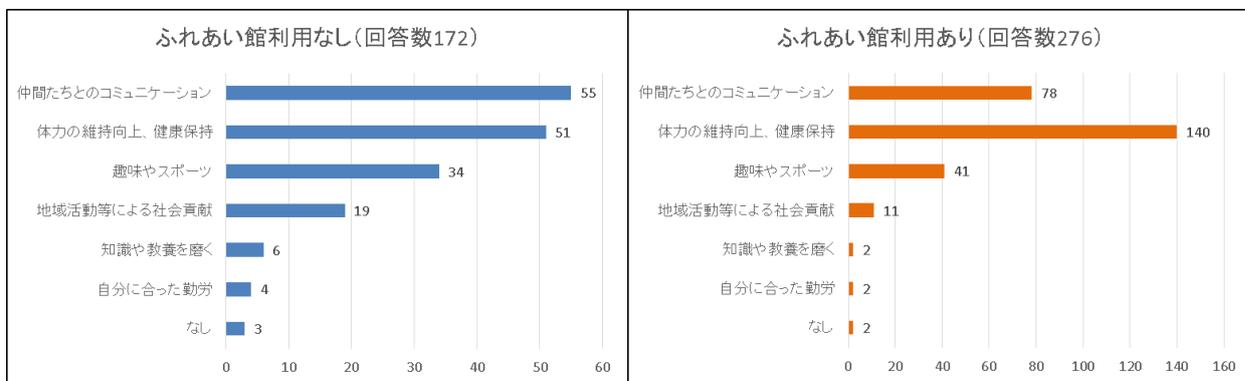
**問 11 あなたが健康づくりや教養・レクリエーションなどのため無理なく通える場所の範囲は次のうちどれですか（1つのみ）**



**【コメント】**

ふれあい館利用のある、なしに関わらず「徒歩で通える範囲」と「自転車で通える範囲」が合わせて約80%となっており、近距離での通える場所が求められている。

**問 12 高齢者がいきいきと暮らしていくために、あなたがとくに重要と考えるものは次のうちどれですか（1つのみ）**



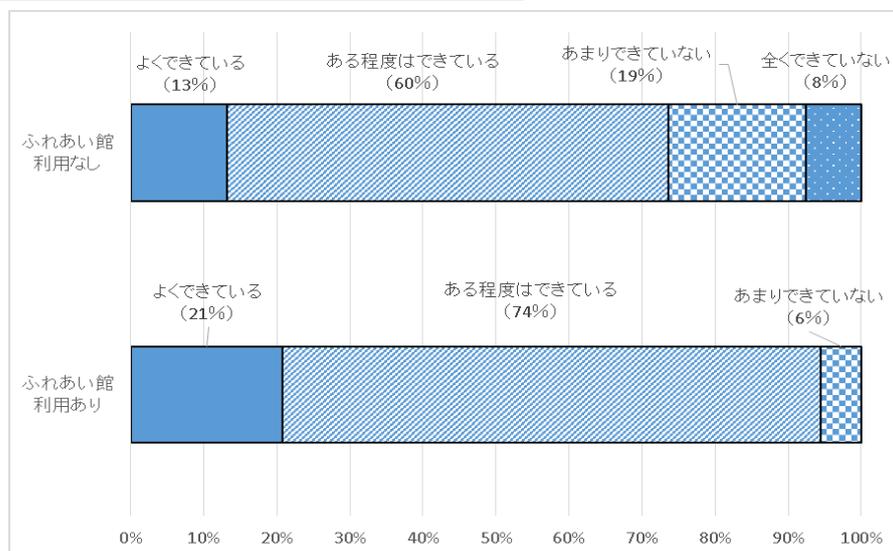
**【コメント】**

ふれあい館利用のない方では、「仲間や友人とよい関係を持ち、コミュニケーションを豊かにすること」と「体力を維持・向上させ、健康な身体をつくり保つこと」が上位となった。ふれあい館利用ありの方では、「体力を維持・向上させ、健康な身体をつくり保つこと」が回答数全体の半数以上となった。

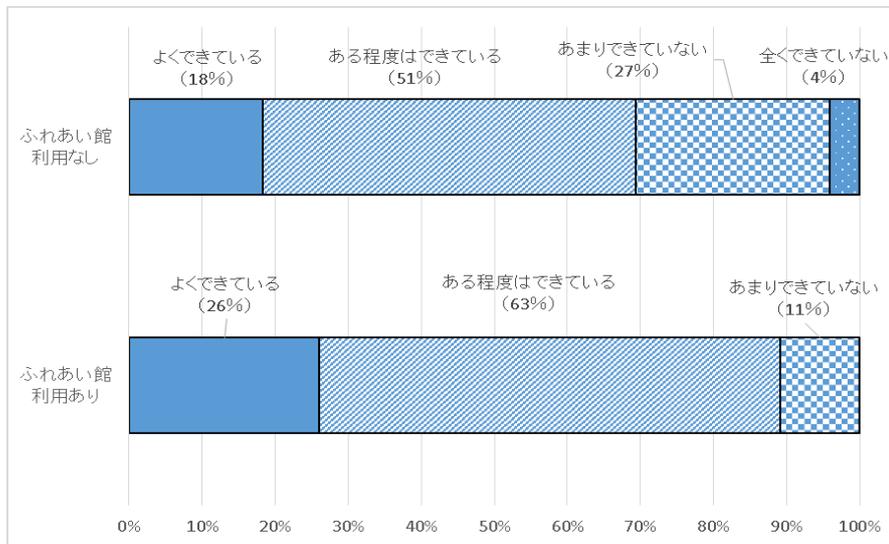
**問 13 あなたが、問 12 で回答した「いきいきと暮らしていくために、とくに重要と考える事柄」について、あなたご自身はどれだけでできていますか。（1つのみ）**

※問 12 で回答上位だった「仲間たちとのコミュニケーション」、「体力の維持向上、健康保持」について回答内容を集計

**「仲間たちとのコミュニケーション」**



## 「体力の維持向上、健康保持」



### 【コメント】

「仲間たちとのコミュニケーション」はふれあい館を利用したことが無い方に比べるとふれあい館の利用ありの方が回答者は少なかったが、回答者が「よくできている・ある程度は出来ている」と回答した割合はふれあい館利用ありの方の方が高かった。

### 3-3 まとめ

- ・アンケート調査の個別質問結果から、次のような事柄が見て取れる。
  - アンケート回答元となっている団体の年齢構成が、ふれあい館と年齢構成で類似している。
  - ふれあい館の利用の有無を問わず公共施設やグループ・サークルを活動の場としている方が多い。
  - ふれあい館の利用の有無を問わず回答者の約80%は、「徒歩」や「自転車」で通える範囲を健康づくり等の活動を無理なく行える範囲と考えている。
  - ふれあい館の利用の有無を問わず、ふれあい館を利用する（したいと思う）理由として、「近隣にある」が上位であることから、サービス内容だけではなく地理的要因も施設利用に影響を与えている。また、「近隣にある」以外にも、無料で利用できることが、ふれあい館の大きな利用価値となっている。

- アンケート回答者の40%以上が「体力を維持・向上させ、健康な身体をつくり保つこと」をいきいきと暮らしていくため重要と考えている。

## 4 ふれあい館の今後のあり方

今後のふれあい館のあり方について、ふれあい館の利用者及び未利用者へのアンケート結果及び検討会での意見を、次のとおり整理する。

### 4-1 アンケート結果

#### (1) 高齢者が日常的に行っている活動について（問1）

- 全回答の中では、94%の人が日常的に取り組んでいる活動があることがわかった。その中で最も多かったのは、「体力づくり」で全回答者の58%であった。次いで「地域貢献」が34%、「娯楽・遊技」が33%という結果であった。一方で「特になし」は6%にとどまった。
- また、「いきいきと暮していくために、とくに重要と考えているもの」（問12）は、「体力を維持向上させ、健康な身体をつくり保つこと」が全回答者の43%と最も多かった。次いで「仲間や友人とよい関係を持ち、コミュニケーションを豊かにすること」が30%という結果であった。

#### (2) 高齢者の活動形態

- 高齢者が、どのような形態で、定期的・日常的な活動を行っているか（問2）については、「グループ・サークルの活動」が35%と最も多かった。次いで「市などの公共サービス、施設」が31%であった。一方、「個人が運営する教室など」は5%であった。

#### (3) 高齢者が望む活動場所の範囲

- 高齢者が活動するために無理なく通える場所の範囲（問11）については、「徒歩や自転車で通える範囲」と回答した人が全体の約80%であった。

#### (4) ふれあい館に求めるもの

- ふれあい館の事業内容（問9）については、「現状維持」の38%が最も多かった。次いで「健康な体づくりを応援するサービスの充実」が37%、「快適に過ごせる場の提供」が22%という結果であった。

## 4-2 検討会での意見

### (1) 高齢者の関心事

- ・日頃から高齢者とかかわっているが、よく話題に出る関心事の内容として、以前は認知症などが多かったが、最近は「健康づくり」や「健康体操」、「ストレッチ」に関することが多い。

### (2) 高齢者の活動場所に関すること

- ・老人クラブの活動は、近くの公園や町内会館・自治会館、またはコミュニティセンターや市民センターで行うことが多い。
- ・地域で老人クラブの活動をしていると、自治会や町内会館でも利用制限があったり、有料の場所が多くて苦労している。現在、利用料が無料のふれあい館が身近にあれば使ってみたいというクラブも多いと思う。

### (3) ふれあい館に求めるもの

#### 【事業内容について】

- ・すでに就労を通じて社会参加をしているシルバー人材センターの会員の望みは、「健康でありたい」ということである。  
シルバー人材センターの会員は、現在行っている活動のほかに、地域に帰った時の居場所を求めている傾向が伺える。ふれあい館などで健康維持や仲間づくりを行っていきたいと考えている人は多いと感じている。
- ・現在、ふれあい桜館では、健康づくりに関する要望が多い。このため、健康体操などを中心にして事業を実施している。
- ・地域で交流機会の少ない高齢者が「ちょっと行ってみようかな」と気軽に足を運べる場所がほしい。ふれあい館がその役割を担ってほしい。
- ・高齢者はスマホにとっても関心がある。仲間同士で教え合える場所があるといい。
- ・地域の方向けに、オープンキャンパスのような見学会を企画してみてもどうか。

#### 【情報共有について】

- ・市内に12ヶ所の高齢者支援センターと、6ヶ所のふれあい館が情報交換していくことは素晴らしいことだ。ふれあい館の行事予定表が定期的に支援センターに共有されるとよいと思う。

#### 【利用対象者の拡大について】

- ・試行的なイベントは、利用者登録を不要にして、誰でも自由参加できる形にしたらどうか。
- ・一時的に開放日を設けて子育て世代も利用可能とするなどしては。

- ・高齢者と子どもの交流は重要だと思う。ふれあい館でも何か交流できるイベントがあると楽しいかもしれない。

#### (4) その他の意見

- ・高齢者支援センターでは、日常業務で単身高齢者への訪問を行っている。その中でも、特に人と交流する機会が少ない方は心身状態の低下が心配である。
- ・ふれあい館に関する情報は、地域に提供されることが少ないと感じる。広報やチラシの作り方にも斬新な変化が必要ではないか。
- ・高齢者は、ふれあい館の存在は知っているが、すでにグループが出来上がっていて行きにくいという話も耳にすることがある。もっと気軽に利用できる工夫が必要だと思う。
- ・建物に関する使用期限の目安について、あり方の中に明文化しておいた方がよいと思う。

### 4-3 ふれあい館の今後のあり方

#### (1) 高齢者のニーズについて

アンケート結果及び検討会での意見に基づき、高齢者のニーズを整理すると、以下のとおりとなる。

- ① 体力の維持・向上、健康づくりを行いたい。
- ② 仲間や友人とよい関係を持ち、コミュニケーションを豊かにしたい。
- ③ より身近な場所で活動に取り組みたい。

また、検討会での意見として、閉じこもりがちな単身高齢者へ外出機会を提供することの必要性も示された。

#### (2) ふれあい館の現状

- ① 利用者の多くは、提供されるサービス内容の「現状維持」を望んでいる。
- ② 現行の提供されているサービスは娯楽・遊戯が中心となっており、介護予防や健康づくりに関する事業については、改善の余地がある。
- ③ 利用者の多くは近隣に居住する者である。
- ④ ふれあい館は6カ所しかないので、市内全域の高齢者を対象にすることはできない。また、地域に向けた情報発信力が低い。
- ⑤ 現在のふれあい館は、初めての人が参加しづらい。

### (3) 重点取組項目と取組の指標

高齢者のニーズやふれあい館の現状を踏まえ、「介護予防・健康づくり」をふれあい館における今後の重点取組項目に位置付けることとする。

また、取組の指標については、次の①～③とする。

- ① 介護予防・健康づくりに関連した取組を行う。
- ② より多くの高齢者の利用につながる内容とする。
- ③ 特に単身高齢者にとっての外出の機会となる取組を行う。

### (4) 具体的な取組

- ・ふれあい館の主催により「介護予防・健康づくり」に関連した様々なイベントや講座等を試行的に開催する。
- ・単身高齢者に対し、参加を積極的に促す。
- ・効果的と認められる取組は、高齢者支援センターを通じて市内の各地域に展開していくこととする。

### (5) 将来的な方向性

介護予防・健康づくりに関する取組は、「(1) 高齢者のニーズについて」にあるとおり、より身近な場所で継続的に行われるのが望ましい。そのため、ふれあい館で実施する事業についても、将来的には、身近な地域で行う取組への移行を目指すこととし、その時期は、ふれあい館の建物の使用期限を踏まえて検討していくこととする。

各館の使用期限については、単独館（もみじ館・いちよう館）は、躯体である鉄筋コンクリートの耐用年数（60年）を目安とし、その他の館（もっこく館、くぬぎ館、けやき館、桜館）については、市民センター等を主用途とする複合施設であることから、建物全体における方針に基づいて検討することとする。

## 《資料編》

## 1 町田市高齢者福祉センター（ふれあい館）あり方検討会設置要領

### 第1 設置

下記の市内6カ所にある町田市高齢者福祉センター（以下「ふれあい館」という。）のあり方を検討するため、「町田市高齢者福祉センター（ふれあい館）あり方検討会」（以下「検討会」という。）を設置する。

名称	所在地
ふれあい 桜館	町田市下小山田町3,580番地
ふれあい もみじ館	町田市金森東三丁目17番14号
ふれあい いちょう館	町田市大蔵町1,984番地1
ふれあい くぬぎ館	町田市山崎町2,160番地4
ふれあい けやき館	町田市相原町795番地1
ふれあい もっこく館	町田市原町田五丁目8番21号

### 第2 役割

検討会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) ふれあい館が市の高齢者施策の中で担うべき役割に関すること。
- (2) ふれあい館のあり方の方向性に関すること。

### 第3 組織

- 1 検討会は、委員7人以内をもって組織する。
- 2 委員は、次に掲げる者で構成する。
  - (1) 次に掲げる団体から推薦を受けた者
    - ①社会福祉法人 町田市社会福祉協議会
    - ②町田市老人クラブ連合会
    - ③公益社団法人 町田市シルバー人材センター
    - ④社会福祉法人 町田市福祉サービス協会
    - ⑤町田市高齢者支援センター
  - (2) 町田市いきいき生活部高齢者福祉課長
  - (3) ふれあい館利用者

### 第4 委員の任期

委員の任期は2023年3月31日までとする。

## 第5 委員長等

- 1 委員長は、町田市いきいき生活部高齢者福祉課長とする。
- 2 委員長は、検討会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

## 第6 会議

- 1 検討会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 2 委員長は、必要があると認めるときは、検討会に委員以外の者の出席を求めることができる。

## 第7 庶務

検討会の庶務は、いきいき生活部高齢者福祉課において処理する。

## 第8 委任

この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、委員長が検討会に諮って定める。

## 附 則

- 1 この要領は、2022年8月1日から適用する。
- 2 この要領は、2023年3月31日限り、その効力を失う。

## 2 2022年度「ふれあい館あり方検討」実施方針

ふれあい館は、高齢者の通いの場として、健康の維持増進、教養の向上、レクリエーションに関するサービスを提供することを目的として、昭和50年代に市内6カ所に設置され多くの高齢者に親しまれてきました。

高齢化が急速に進む中、町田市でも高齢者数は増加していますが、ふれあい館の利用者は減少傾向にあります。これは、生活様式の多様化に伴い高齢者の日常の過ごし方が変化していることが原因のひとつだと考えられます。

町田市では財政状況が厳しさを増す中でも必要な公共サービスを維持または向上させていくために、2018年度に「町田市公共施設再編計画」を策定しました。この計画の中では、ふれあい館についても見直しの方向性が示されています。

このような現状を踏まえ、今後、町田市の高齢者施策においてふれあい館が担うべき役割やそのあり方について検討を行うため、市内の福祉関係団体や地域団体及びふれあい館利用者で構成した検討会を設置し、次のとおり検討会を開催します。

### 第1回検討会（9月実施予定）

- ・ふれあい館の現状を共有する。
- ・市民アンケートの質問項目について検討する。

### 第2回検討会（11月実施予定）

- ・市民アンケート回答の分析結果を報告し、方向性を検討する。

### 第3回検討会（1月実施予定）

- ・検討結果をまとめる。

検討にあたっては、高齢者の日常の過ごし方についての市民アンケート（10月実施予定）を行い、高齢者の行動様式や関心事などを把握します。その結果をもとに、ふれあい館が町田市の高齢者施策の中で担うべき役割を確認したうえで、今後のふれあい館のあり方の方向性について検討していきます。



- 問2 問1で回答したことを行うため、利用しているものはどれですか。(いくつでも)
1. 市などの公共サービス、施設(ふれあい館以外)
  2. ふれあい館での活動
  3. 民間事業者のサービス、施設
  4. グループ、サークルの活動(老人会なども含む)
  5. 社会福祉施設、NPOなど
  6. 個人が運営する教室など
  7. 特になし
  8. その他( )

- 問3 あなたは、ふれあい館についてどの程度ご存知でしたか。(1つのみ)
1. 現在利用している
  2. 以前利用したことがある
  3. 利用していないが、どんな施設かは知っている
  4. 名前くらいは聞いたことがある
  5. 全く知らなかった

- 問4 あなたは、今後ふれあい館を利用したいと思いますか。(1つのみ)
1. ぜひ利用したい
  2. 利用してもよい
  3. あまり利用したいと思わない
  4. 利用したくない

- 問5 問4で1.または2.と答えた方にお聞きします。利用したいと思う理由は何ですか。(いくつでも)
1. 提供しているサービスが自分に必要なものだから
  2. 提供しているサービスが魅力的だから
  3. 近隣にあって行きやすいから
  4. 無料で利用できるから
  5. 施設の雰囲気がよい(よさそうだ)から
  6. 親しい仲間・友人が通っているから
  7. その他( )

【次項に続く】

問6 問4で3.または4.と答えた方にお聞きします。利用したくないと思う理由は何ですか。(いくつでも)

1. 提供しているサービスが自分に合わないから
2. 提供しているサービスに魅力がないから
3. 遠い、または不便な場所にあるから
4. 利用したい時間に開館していないから
5. 施設の雰囲気が悪い(悪そうだ)から
6. 「高齢者の施設」というイメージが嫌だから
7. その他( )

問7 ふれあい館で利用したいと思う(している)サービスは何ですか。(いくつでも)

1. 健康器具(マッサージ器・電位治療器)
2. 体操・ストレッチ
3. 健康相談・体力測定
4. カラオケ・踊り
5. 囲碁・将棋・麻雀・ビリヤード
6. 各種教養講座・同好会活動
7. 特になし

問8 問7の選択肢のほかに、ふれあい館で提供してほしいサービスはありますか。

自由記述( )

問9 ふれあい館の事業内容について、今後、どのような方向に力を入れていくのがよいと思いますか。(2つまで)

1. 現状の施設やサービスを続けていく
2. 健康な身体づくりを応援するサービスを充実させる
3. 親睦を深められるレクリエーション等の機会を増やす
4. 子どもや若い世代との交流を活発にする
5. 趣味や教養を深め、発表もできる機会を増やす
6. ゆったり快適に過ごせる場を提供する
7. いろいろな悩みごとの相談を受ける
8. その他( )

【次項に続く】

問10 ふれあい館の運営方法について、今後どんな工夫や改善をしていくのがよいと思いますか。(2つまで)

1. 身近な場所でサービスを利用できるようにする
2. 事業の宣伝を活発に行う
3. インターネットやデジタルコンテンツの活用を進める
4. 利用者や一般市民の事業運営への参加を進める
5. いろいろな組織や団体と連携・協力して事業を進める
6. 民間でできることは民間の事業者任せしていく
7. その他 ( )

問11 あなたが健康づくりや教養・レクリエーションなどのため無理なく通える場所の範囲は次のうちどれですか。(1つのみ)

1. 歩いて通える場所(およそ20分以内)
2. 徒歩または自転車で通える場所
3. 交通機関も使って片道およそ30分以内の場所
4. 時間がかかっても交通機関を使って通える場所
5. 自家用車で通える場所
6. その他 ( )

問12 高齢者がいきいきと暮らしていくために、あなたがとくに重要と考えるものは次のうちどれですか。(1つのみ)

1. 体力を維持・向上させ、健康な身体をつくり保つこと
2. 仲間や友人とよい関係を持ち、コミュニケーションを豊かにすること
3. 地域活動や奉仕活動などに参加し、社会に貢献すること
4. 趣味やスポーツなど、好きなことを楽しむこと
5. 仕事を持ち、自分に合った働き方をすること
6. いろいろなことに関心を持ち、知識や教養を磨くこと
7. 特になし
8. その他 ( )

問13 あなたが問12で回答した事柄について、あなたご自身はどれだけできていますか。(1つのみ)

1. よくできている
2. ある程度はできている
3. あまりできていない
4. まったくできていない

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

#### 4 町田市高齢者福祉センター（ふれあい館）あり方検討会委員名簿

	氏名	所属等	備考
1	江成 裕司	町田市いきいき生活部高齢者福祉課長	委員長
2	北澤 英明	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	委員長職務代理
3	小澤 和夫	町田市老人クラブ連合会	
4	天野 美佐子	公益社団法人 町田市シルバー人材センター	
5	浅沼 直規	社会福祉法人 町田市福祉サービス協会	
6	細野 泉	南第2 高齢者支援センター	
7	萩原 勝生	ふれあい館利用者	

#### 5 検討会の開催経過

	開催日	主な検討内容
第1回	2022年 9月30日	○ふれあい館の現状と課題 ○市民アンケートの実施について
第2回	12月15日	○ふれあい館に求められる役割 ・ふれあい館に関するアンケート集計結果 ・あり方検討にあたっての視点
第3回	2023年 2月9日	○ふれあい館の今後のあり方